

「熊本市子ども輝き未来プラン」の策定にあたって



熊本市は、清らかな地下水と豊かな緑、築城400年を超える熊本城に代表される伝統ある歴史や文化、そして快適な都市機能を併せ持つ九州中央の拠点都市です。

平成24年4月には、全国で20番目の政令指定都市へ移行し、現在、「ずっと住みたくなる街」誰もが憧れる上質な生活都市くまもとづくりを進めているところです。

さて、我が国では、急速な少子化の進行とともに深刻な人口減少に直面している中、生活様式の多様化等に伴う核家族化の進展や地域の繋がりの希薄化等、子どもや子育て家庭などを取り巻く環境は大きく変化し、子育て世帯の孤立化や仕事と家庭の両立の困難さが増すなど、結婚・妊娠・出産・子育てに対する不安や負担感が増加しています。

このような中、熊本市はこれまでも次世代育成支援行動計画「ひびけ！子ども未来プラン」において「子どもの声がひびく^{まち}地域づくり」を基本理念に掲げ、様々な子育て支援策を推進してきました。さらに今般、「次世代育成支援対策推進法」の延長や「子ども・子育て関連3法」の成立に伴う「子ども・子育て支援新制度」のスタートにより、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上が推進されることとなったことを受け、このたび、平成27年度から平成31年度までの5年間の取り組みとして、次世代育成支援行動計画と子ども・子育て支援事業計画を一体的に定めた「熊本市子ども輝き未来プラン」を策定いたしました。

熊本市の未来を創る子どもは、熊本市の宝であり、希望であり、夢です。本市では、今後、このプランに基づき、子どもたちの声がひびき、子どもたちが元気にあふれ、子どもたちの笑顔が輝くような、「子どもが輝くまち くまもと」づくりを進めてまいりますので、皆様には、本市市政に対しまして、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定にあたり、ご審議をいただきました熊本市子ども・子育て会議の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました市民の皆様から感謝を申し上げます。ご挨拶といたします。

平成27年3月

熊本市長 大西一史